

一般質問通告書（一問一答方式）

質 問 者

平成 31 年 3 月定例会

議席番号 7 番
三輪 正議員

1. 消防団の組織再編について

1、消防団員の欠員状況と特別団員（機能別消防団員）制度の活用について伺う。

2、消防団の地域割について著しく世帯数、人口の格差が大きく、人的、経済的に負担が大きくなっているが、町はこの問題についてどのように考えているのか伺う。

3、人口減が進んでいるが、消防力を維持するため消火栓、防火水槽の水利、消防車の能力アップなど必要と思うが町の考えを伺う。

2、住宅用火災警報器の設置について

最近、住宅火災による死亡事故が多発している。下記 4 点を伺う。

1、平成 25 年に、県内で当町の住宅火災警報器設置率は、ワースト 1 となっていたが、現在の当町の設置状況について伺う。

2、未設置住宅での火災による、死亡事故が多発している現状であるが、町営住宅や民間アパート等集合住宅において、設置勧奨はどのようにしているか。

3、高齢者や障がい者世帯について、設置状況はどうなっているか。

設置率を上げていくために、平成 23 年に実施した警報器設置助成制度を再度行うべきではないか。

4、未設置世帯については、配布文書等の広報の他に、消防署や消防団からの協力が必要である。各世帯の設置状況の見回りなど、実際に活動していくことも必要であると考えますが、町はどのように考えるか。

一般質問通告書（一問一答方式）

質 問 者

令和元年 6 月定例会

議席番号 7 番
三輪 正議員

1、高齢者等の自動車運転安全対策について
連日高齢者運転による事故が発生し、免許返納、安全運転サポート車（サポカー）の補助など事故防止について各自治体が対策に動き始めている。

当町は以前より交通弱者等への福祉タクシー券支給制度があり、今年 4 月からは支給が 65 歳以下に引き下げなど当町の対応は県外でも注目されている。

町民が今後とも安心安全に生活できるよう次の 3 点について町の考えを伺う。

①高齢者の安全運転サポート車購入に補助する考えはないか。

②福祉タクシー券支給対象の拡大

怪我や目の手術等で一時的に運転が困難な人に支給できるか伺う。妊産婦で運転に支障がある方に支給できるか伺う。

2、学校、保育園の交通安全対策について

通学、通園途中の事故が多発している。関係者は連携して事故防止に対応すべきだ。

①通学、通園路の危険個所をチェックして問題があれば早急に対応すべきだ。

②保育園周辺を「キッズゾーン」に設定して園児の安全を確保すべきと考えるが町の考えを伺う。

一般質問通告書（一問一答方式）

質 問 者

令和元年 9 月定例会

議席番号 7 番
三輪 正議員

1、防災と減災対策の強化について

台風、大雨、地震などにより、毎年多くの被害が発生している。今後も異常気象が続き、増々災害発生が危惧される。そのため事前の防災、減災対策の重要性が今後一層増していく。具体的には次の4点について町の対応を伺う。

- ①避難所運営において問題はないか（人員配置、備蓄品、資機材など）
- ②災害時における飲用以外の生活用水（洗濯やトイレ等の水）の確保のため、個人所有の「井戸水」の利用を進めるべきではないか。大規模な災害が発生した直後には、公共施設や体制だけでは、対応が追いつかない。そのため、事前に井戸所有者と町で協定を結び、災害時の協力井戸として登録してもらえるように進めるべきではないか。
- ③自主防災組織など住民との連携は、具体的にどうなっているか。
- ④大雨によるため池の氾濫や崩壊の危険性が問題となっているが、当町のため池の実態把握と対策は行われているか。

2、天領の里へバス路線延長を

観光立町を目指す当町において、観光拠点の「天領の里」は、全国から観光客が訪れ、賑わっている。

大半は自家用車、観光バスの利用者であるが、長岡駅や出雲崎駅を利用して当町を訪れる観光客は、路線バスに乗り、良寛堂バス停から1キロを歩いて来られる方もいる。ルートの中に、天領の里に行く便を運行することで、尼瀬地区など地元の方にも、利便性が高まり、利用率の促進につながると考える。

前を走る柏崎線も1日3便で、土日祝日は運行していない現状である。

尼瀬地区は港もあり、「観光重点地区」である。

観光振興と住民の交通確保のために、バス運行業者に路線延長を強く要望すべきと考えるが町長の考えを伺う。

一般質問通告書（一問一答方式）

質 問 者

令和元年 12 月定例会

議席番号 7 番
三輪 正議員

1. イノシシ被害の現状と対策について

近年イノシシの出没地域と被害が拡大している。
町と関係者は拡大阻止に努力されているが、出没が全地域に拡大する状況である。また鹿などの目撃情報もあり、町民の不安が増している。現状と今後の対策について伺う。

- ①イノシシの出没地域と被害の状況
- ②被害と地域拡大阻止対策について
- ③隣接市町村との情報共有と連携を図っていく考えはないか。
- ④拡大阻止に対する町民の協力について

2. 「御金蔵」の復元について

佐渡金銀山が世界遺産の最有力候補であり、世界遺産に登録されると、当町の金銀荷揚げ地も波及効果が出る。出雲崎の歴史的価値を示す重要遺跡の「御金蔵」を復元して、出雲崎の歴史の発信と観光に生かすべきと考えるが町の考えを伺う。